

『長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要』(1～19巻) 総目次

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 1巻1号 2003年3月 (全84頁)

巻頭言 (学長 森泰一郎) (i)

(学術研究部長 渡辺勝義) (ii)

(学部長 内村公義) (iii)

<一般論文>

沖縄における潜在的待機児童に関する一考察 (神里博武) (1)

日本の英語教育に関する再考察 ―コミュニケーション型な授業を目指して― (山口千晶) (9)

逆境から得たもの：雲仙普賢岳噴火災害から12年を迎えて

―被災地区を事例として―

(開浩一) (21)

割当雇用制度に関する一考察 ―精神障害者の雇用義務化を中心に―

(村上清) (31)

キリスト教社会福祉 (ディアコニー) の源流

(山城順) (37)

日本精神文化の根底にあるもの (二) ―実存的不安と託宣―

(渡辺勝義) (I)

<研究ノート>

社会福祉協議会と子育て支援

(神里博武) (47)

<翻訳>

ディアコニーと近代における内国伝道の歴史 第2章

(山城順) (55)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 2巻1号 2004年3月 (全100頁)

<一般論文>

沖縄県の「ふれあいのまちづくり事業」について ―事業評価を中心に―

(神里博武) (1)

肢体不自由者更生施設の変遷と今後の課題

―長崎県身体障害者更生指導所の変遷と課題を中心に―

(太田勝代 内山憲介) (13)

インターナショナル・サービ斯拉ーニング、専門英語、日本人学生

(Lowell Brubake) (31)

キリスト教社会福祉 (ディアコニー)

(山城順) (51)

Emilia's Intentions and the Handkerchief in Othello

(Joseph Z.R.) (63)

日本精神文化の根底にあるもの (三) ―「魂の行方」について―

(渡辺勝義) (I)

<翻訳>

ディアコニーと近代における内国伝道の歴史

(山城順) (71)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 3巻1号 2005年3月 (全106頁)

<一般論文>

宮本常一氏のもう一つの離島振興観

(鈴木勇次) (1)

中国語教授法の変遷

(俞稔生) (9)

地域住民の高血圧、高脂血症、耐糖能異常に対する健康教育の試み

(草野洋介、金ヶ江光生、青柳潔) (15)

行動療法に寄せられる諸批判の整理と検討

(金原俊輔) (21)

Matching Learning and Teaching Styles

(Merlin S.Levirs) (29)

頸髄損傷者の受傷からの成長の可能性

(開浩一) (35)

長崎ウエスレヤン大学建学の精神とキリスト教教育

(山城順) (47)

大学英語教育において、語彙学習は学力向上の推進剤となりうるか?

(早田武四郎) (75)

日本精神文化の根底にあるもの (四)

―記紀古典に見る「穢れ」の意味について―

(渡辺勝義) (I)

<研究ノート>

- 「つどい」について —精神障害のある人々のエンパワーメント活動— (村上清) (83)
諫早市A中学校におけるHIV / AIDS問題学習実践報告 (入江詩子) (89)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 4巻1号 2006年3月 (全166頁)

<一般論文>

- 社会開発理論におけるコミュニティ開発についての一考察
—開発社会学のアプローチを中心に— (藤崎亮一) (1)
生涯学習がまちづくりに果たす役割と効果
—瑞穂町「瑞穂の国 夢・発見塾」の事例を通して— (佐藤快信・菅原良子) (7)
精神障害の就労と社会的協同組合 (村上清) (17)
長崎県における退院促進支援事業 (一学生が経験した事例を通じて)
(草野洋介・松本由紀子・日野山悦子・谷川雄次・橋本佳奈・筒井知美・藤崎亮一) (23)
被災者に対する心理的支援の基本的態度 (荒木憲一) (29)
大学英語教育における英語力増進に関する研究 (大里泰弘・早田武四郎) (35)
在日外国人を対象としたカウンセリングで用いる面接同意書について (金原俊輔) (49)
開発社会学における人間開発について (藤崎亮一) (55)
離島振興法の原点とその目標 —離島振興対策実施地域の指定— (鈴木勇次) (61)
A “Best Practice” to Motivate Low Post-Secondary Students: Direct Cash Rewards
(Merlin S. Levirs) (69)
Posttraumatic Growth (外傷後成長) を促すものは何か
—変容課程に視点を置いて— (開浩一) (75)
高齢者に対する保健・医療・福祉サービスの連携に関する考察
—日・韓比較研究を通じて— (愼燮重・辛基碩・張昌鎬・関銀姫) (85)
日中両国における外国語教育の現状 (胡振剛・鐘玉秀) (95)
Blake’s Dramatic Imagination 戯曲家ウィリアム・ブレイクの想像力 (山崎有介) (99)
平和学の試み 鎮西学院被爆60年 (山城順) (105)
精神障害者の居住サポートに関する一考察
—住宅確保に向けた支援対策の検討— (山口弘幸) (123)
日本精神文化の根底にあるもの (五) —怨親平等の鎮魂について— (渡辺勝義) (I)
<研究ノート>
離島振興法誕生の経緯 —竹下虎之助元広島県知事に聞く— (鈴木勇次) (133)
中国語類義語の差異や互換性 (俞稔生) (141)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 5巻1号 2007年3月 (全135頁)

<一般論文>

- 韓国の地域福祉の概況 (裴瑢俊) (1)
離島振興法の原点とその目標 —離島振興対策実施地域の指定 (その2) —
(鈴木勇次) (5)
ウィリアム・ブレイクの喜劇性 (山崎有介) (13)
Updating the Intelligence and Ability testing Platform : Improved Prediction and
Reflection of Learning Through Computer-based Testing Using Examinees’ Learning Styles
(Merlin Levirs) (21)
文章における“把”の応用について (高山乾忠) (29)
“要”と“想”の機能について (高山乾忠) (33)

現代日本の家族における「かたち」と「こころ」についての考察	(原真由美、金原俊輔) (37)
歴史心理学を援用した日本文化理解の試み	(陳静、金原俊輔) (43)
ボランティアと生涯学習との接点	(入江詩子、佐藤快信、菅原良子) (51)
日中翻訳の難しさをめぐって	(胡振剛、鐘玉秀) (63)
中国語の描写性を豊かにする文法項目	(俞稔生) (67)
中国語教育における中国の歌の効用について	
—中国語の歌的要素を発音練習に取り入れる試み—	(俞稔生) (73)
日本精神文化の根底にあるもの(六) —「聖なるもの」の訪ひについて—	(渡辺勝義) (I)
<研究ノート>	
障害者自立支援法と小規模作業所 —事業体系移行を巡る課題検討—	(山口弘幸) (79)
<翻訳>	
ディアコニーと近代における内国伝道の歴史 第9-10章	(E.パイロイター著 山城順訳) (91)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 5巻2号 2007年5月 (全18頁)

<一般論文>

高等学校学習指導要領から見た大学英語教育	(大里泰弘) (1)
中心市街地における商業地区の機能活性化への試みについて	
—「諫早市永昌東町お茶の間通り商店街」の事例から—	(藤崎亮一) (9)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 6巻1号 2008年3月 (全160頁)

<一般論文>

大学におけるアサーティブ・トレーニングの教育効果に関する考察	
—自己信頼感の獲得を中心にして—	(入江詩子、菅原良子、開浩一、清水隆志) (1)
中国における障害者福祉の動向	(金文華) (13)
長崎における精神障害者の雇用・就労の現状と課題	(村上清) (21)
長崎県における福祉教育の変遷と今後の課題	
—地域ぐるみの協同実践にみられる効果とその可能性—	(中野伸彦) (27)
韓国における社会福祉施設評価について	(バイヨンジュン、シンミンジョン) (39)
コミュニケーション能力育成語学教育における文法指導	(大里泰弘) (49)
高等学校における森田療法	(金原俊輔) (53)
「なぜ、わたしが？」—エリカ・シューハート理論について—	(山城順) (63)
地域資源の活用による文化資本の形成について	
—長崎県諫早市の商店街の事例をもとに—	(藤崎亮一) (77)
英語資格に関するニーズ分析	
—長崎ウエスレヤン大学の英語教育に何が求められているのか—	(林千晶) (83)
時代の変遷に伴うことばの変化	(胡振剛) (95)
中日呼称語についての比較	(胡振剛、鐘玉秀) (99)
「要是～、就～」構文について	(俞稔生) (105)
漢字文化の歩み	(高山乾忠) (109)
文章の表現における「过」—その分類について—	(高山乾忠) (117)
天国と地獄：ブレイク、逆転の発想	(山崎有介) (125)
日本精神文化の根底にあるもの(七)	
「始原への回帰」—本田親徳翁が遺した霊学(鎮魂法・帰神術)について—	(渡辺勝義) (I)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 7巻1号 2009年3月 (全142頁)

<一般論文>

戦後の精神障害者の雇用・就労施策の史的研究 I

—雇用・就労施策前史① 占領期—

(村上清) (1)

戦後の精神障害者の雇用・就労施策の史的研究 II

—雇用・就労施策前史② 独立から1960年代—

(村上清) (9)

行動療法・認知行動療法が用いられた10件のカウンセリング事例

(金原俊輔) (15)

高等学校学習指導要領から見た大学語学教育

(大里泰弘) (29)

文法外コミュニケーション能力の指導

(齋藤仁志) (35)

異年齢集団活動が児童の発達に関わる可能性

(開浩一、柿森昭長) (39)

ナショナリズムと近代化への問い：比較社会的視点から

(亘明志) (47)

福祉の哲学序説

(中野伸彦) (55)

スピリチュアルケア試論

—死生学からスピリチュアルケア学へ—

(内村公義) (69)

中国における知的障害者の活動と参加に関する評価

—ICFを用いた評価を通して—

(金文華) (85)

中国における障害者人口の実態

—第2次全国障害者サンプリング調査を通して—

(金文華) (85)

21世紀中国農村の現状と課題

(80年代から2000年の諸政策の考察)

(高山乾忠) (93)

文化資本の形成について

—地域ブランドづくりの視点から—

(藤崎亮一) (101)

日本精神文化の根底にあるもの (八)

—「産土神」考—

(渡辺勝義) (I)

<研究ノート>

コンパクトシティに関しての一考察

(佐藤快信) (109)

中国語学習に不可欠な言葉の背景知識

(俞稔生) (117)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 8巻1号 2010年3月 (全94頁)

<一般論文>

早期、内蒙古喀喇沁右旗における日本語学校

(高山乾忠、布日其其格) (1)

スピリチュアリティに関する一考察

—スピリチュアルケアの視点から—

(内村公義) (21)

人権と解放のパラドックス：ハイチ革命を通して

(亘明志) (35)

日本語OPIの超級ロールプレイとジェンダー的問題

(錢坪玲子) (43)

知的障害者の自立生活支援についての歴史的考察

(金文華) (49)

メタボリック・シンドロームのメカニズムとその対策の概要

(草野洋介、下崎輝、木村一哉) (55)

<実践研究> 多文化共生を目指し複眼的視点を持つ その方法と課題

(齋藤仁志) (63)

日本精神文化の根底にあるもの (九) ——「霊学の道」——

(渡辺勝義) (I)

<研究ノート>

中国語授業の工夫

—近年の実践から—

(俞稔生) (71)

農村社会の変化に関する一考察

(佐藤快信) (73)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 9巻1号 2011年3月 (全102頁)

<一般論文>

- B・F・スキナーの生涯 (金原俊輔) (1)
景観とまちづくり (佐藤快信) (31)
国際異文化理解における英語教育の役割 (山崎有介) (41)
契約破棄と両側の法的救済 (佐藤茂春) (49)
コンテクストの分析は翻訳の質を保證する鍵 (胡振剛、鐘玉秀) (55)
自己を語ることの意味 (内村公義、城谷瑠衣子) (61)
日本精神文化の根底にあるもの (十) ——「葬送儀礼」考—— (渡辺勝義) (I)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 10巻1号 2012年3月 (全142頁)

鎮西学院130周年特別記念号

<特別寄稿>

- 「もろともに遠く望みて—苦難と恩寵の道・鎮西学院130年の歩み—」 (森泰一郎) (1)

<一般論文>

- 離島振興法に関わる個人力 —山階方正氏の活躍と貢献— (鈴木勇次) (9)
Passionate Convictions and Self Esteem in The Two Gentlemen of Verona (Joseph Z. Romero) (23)
日英語アспектに関する一考察 (大里泰弘) (31)
文化イベントに参加した学生の学び
「正統的周辺参加」理論の視点からの一考察 (齋藤仁志) (39)
地域づくりにおける地域ブランド形成のための資源活用
—企業ブランドと地域ブランドづくりの視点から— (藤崎亮一) (47)
道の駅の地域振興に関する一考察 (佐藤快信、西川芳昭、鶴淵鉄平) (53)
共生試論 —文化的差異とマイノリティの構造に関する考察— (中野伸彦) (63)
介護福祉実習における実習生への心理的变化に関する研究 (占部尊士、村岡則子、森永佳江、大原朋子) (71)
長崎ウエスレヤン大学における戦略マネジメント・システムの導入 (I) (裴瑒俊、南慎郎、菅原良子、有門恵、永石美穂、佐藤快信) (79)
中国から見た長崎の歴史的意義
—要人來訪・長崎市・福州市との交流状況— (高山乾忠) (101)
日本精神文化の根底にあるもの (十一)
—「神道の生死観」について— (渡辺勝義) (I)
<研究ノート>
“給”をどこまで、どう教えるか (俞稔生) (109)
インターアクションと教育にかかわる雑考2011 (齋藤仁志) (113)
景観とまちづくり (2) (佐藤快信) (117)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 11巻1号 2013年3月 (全53頁)

<一般論文>

- テイルの意味論考 (大里泰弘) (1)
国際異文化理解における英語教育の役割II —伝承文学と異文化理解— (山崎有介) (9)
中国語外来語導入への啓発 —日本語外来語導入の歴史経過から— (胡振剛、郝蕊) (19)
体験学習プログラムの教育効果と評価に関する研究 (1)
—「連想法」を用いた小値賀の体験学習プログラムの評価— (菅原良子) (27)

- コミュニティ・サービス・プログラムの意義と課題—タイ東北部を事例に— (南川恵) (41)
 <研究ノート>
 インターアクションと教育にかかわる雑考2012 (齋藤仁志) (47)
 「諫早民友新聞」(明治41年~43年)と大逆事件 (森泰一郎) (51)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 12巻1号 2014年3月 (全81頁)

<一般論文>

- 日中韓の大学生による共同体験学習の効果と課題について
 —大邱大学研修における日本人学生の成長を中心として— (入江詩子) (1)
 インターネットを活用した日本語学習
 —日本語教育におけるアクティブ・ラーニングの試み— (錢坪玲子) (9)
 カール・ロジャーズとB・F・スキナーが1956年におこなった討論に関する研究 (金原俊輔) (19)
 現代カトリック家系に伝わる「先祖書き」について
 —比較から見たバスチャン伝説との関連性への試論— (加藤久雄、白濱聖子) (37)
 『長墓改』以降の潜伏キリシタン墓の基礎的研究 (旧浦上木場村・向地を中心に)
 (相川和葉、加藤久雄、野村俊之、白濱聖子) (51)

<研究ノート>

- インターアクションと教育にかかわる雑考2013 (齋藤仁志) (63)
 「キラキラ星」のメロディによる中国語の声調指導研究 (兪稔生、郭麗影) (67)
 「つきあげ」五島へ —甘藷・潜伏キリシタン・伝来経緯の解明— (加藤久雄) (71)
 初期・活水学院の三人の娘たちと近代日本 —神近市子・中山マサ・北島艶の歩んだ道— (森泰一郎) (75)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 13巻1号 2015年3月 (全68頁)

<一般論文>

- 対論：対馬振興策を論ず (松村良幸、森泰一郎) (1)
 シニア世代における介護ボランティア活動の有効性に関する予備的検討
 —フォーカス・グループインタビューを通して— (村岡則子) (9)
 日中言語の表現 —量詞選択の思考(Ⅱ)— (高山乾忠) (19)
 アクティブラーニングと教員の対話力に関する一考察 (入江詩子) (25)
 社会教育のこれまでの経緯とこれから (佐藤快信、菅原良子、入江詩子) (35)
 Springboard Speaking Exercises and Pointers in Teaching English to Adult Students (Joseph Z. ROMERO) (45)
 観光グルメマップを通じた諫早の国際観光活性化 (加藤久雄、山口伸貴、岩本海) (55)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 14巻1号 2016年3月 (全66頁)

<一般論文>

- 「鎮西学院精神史序説」(前編) (森泰一郎) (1)
 PBLによるプロジェクトマネジメント能力の育成 (齋藤仁志) (7)
 「支援」における「価値」と「倫理」について
 —原点・立ち位置・視座を背景に— (宮地あゆみ) (13)
 独居高齢女性のサポートの変容に関する質的考察—コンボイに着目して— (岩永耕、横山奈緒枝) (21)

<研究ノート>

雲仙温泉における留学生とともにすすめる観光まちづくり 1.

(国際観光まちづくりのためのフォトマッピング)

(加藤久雄) (33)

<翻訳>

II. A.ソローキン「哲学者としてのЛ. Н.トルストイ」

(吉野浩司) (53)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 15巻1号 2017年3月 (全70頁)

<一般論文>

ウィリアム・ブレイクにおける「煉獄」:

Contraryの概念を通してダンテの『神曲』を読む

(山崎有介) (1)

プロフィシェンシーのための評価へ

—オルターナティブ・アセスメントとしての日本語OPI—

(銭坪玲子) (9)

独居高齢者のごみ出しに関する質的考察

—ソーシャルサポートに着目して—

(岩永耕) (15)

アメリカ社会学会における利他主義セクションの可能性

—P. A.ソローキンの統合主義社会学の視点が投げかけるもの—

(吉野浩司) (23)

文章読解・作成能力テストを利用した「日本語リテラシーA」科目の成果と課題

—長崎ウエスレヤン大学における教育実践レポート—

(吉野浩司) (33)

高大官連携による商品開発とマーケティング

(加藤久雄、矢島邦昭、増本雅也、中山利朗) (51)

<研究ノート>

初級中国語教学実践

(胡振剛) (61)

中山間地域における地域資源の利活用について

—長崎県式見地区の地域活性化グループの取り組みから—

(藤崎亮一) (67)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 16巻1号 2018年3月 (全51頁)

<一般論文>

外傷後成長 —生物学的視点からの理解の試み—

(開浩一) (1)

自己愛と利他愛のむすびつき —P. A.ソローキンとE.フロム—

(吉野浩司) (7)

「善き隣人」としての妙好人

—P. A.ソローキンの利他主義研究の日本への応用—

(吉野浩司) (17)

高大官連携による商品開発とマーケティングその2

(加藤久雄、増本雅也、矢島邦昭) (27)

日本における障害児教育の歴史的変遷

(金文華) (35)

インクルーシブ教育の推進に向けた特別支援教育の今後の方向性についての考察

(金文華) (41)

<研究ノート>

ポータルメディアにみる民生委員の歴史

(山口弘幸) (47)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 17巻1号 2019年2月 (全128頁)

<記事>

英文音声学による「ボイスパーカッション」

(フレイク・リー) (1)

<一般論文>

グローバル化における「リングフランカ」としての英語への挑戦

(フレイク・リー) (7)

ジェンダーと言語：政治的正解（PC）言語運動における異文化分析	(フレイク・リー) (19)
子どものPosttraumatic growthの特徴と支援について	(開浩一) (33)
精神障害者家族会の組織強化に関する一考察	(山口弘幸) (39)
離島における精神障害者支援の現状と課題	
—医療機関への調査から—	(波名城翔・古藤由梨佳) (49)
離島における精神障害者支援の現状と課題	
—自治体への調査から—	(波名城翔) (61)
英語翻訳術と動機付けに関する一考察	(濱崎大) (71)
英語分詞構文の教授法に関する一考察	(濱崎大) (77)
多義語分析についての一考察と教育的示唆	
—動詞drawを例として—	(林田朋子) (83)
日本人英語学習者の多義語使用の実態と語彙指導についての一考察	
	(林田朋子) (93)
亡命ロシア知識人としてのP. A.ソローキン	
—〈善く生きる〉ための社会学の構想—	(吉野浩司) (101)
特別活動と総合的な学習の時間	(森和弘・中野伸彦) (111)
<研究ノート>	
インターアクションと教育にかかわる雑考2019	(齋藤仁志) (119)
アクティブ・ラーニングを取り入れた英語授業の実践例	
	(林田朋子・ジョセフ・ロメロ) (123)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 18巻1号 2019年12月 (全124頁)

<一般論文>

大学EFL学生を対象としたタスクベースの学生指向教科書の設計	(フレイク・リー) (1)
日本LDS教会における「リンガフランカ」としての英語の事例研究	(フレイク・リー) (11)
電子マネー関連決済における会計処理について	(磯本光広) (19)
離島における地域支援の現状と課題	
—五島市民生委員等への調査から—	(波名城翔) (31)
離島観光に関する若者の意識	
—壱岐に関するアンケート調査から—	(波名城翔) (39)
学生視点から考える地域課題解決型学習を通じた高大連携に関する研究	
～九州新幹線西九州ルート諫早駅を事例に～	(江頭知遼・鉄口聖・加藤久雄・登り山和希・白武義治・浦田恵子) (47)
外傷後成長（PTG）の視点からみた肢体不自由者の病理・生理・心理的研究の動向	
—脊髄損傷を中心に—	(開浩一) (63)
長崎県病弱教育研究（第3報）	
—特別支援学校（病弱）Y校の指導法の改善に関する一考察—	(菅達也・平田勝政) (75)
英語翻訳術と動機付けに関する一考察2	(濱崎大) (81)
<研究ノート>	
韓国語の敬語の文法的側面と社会構造	(フレイク・リー) (85)
「主体的・対話的で深い学び」についての一考察	
—中学校英語科の指導案作成に際しての留意事項—	(林田朋子) (95)

授業力向上のための英語指導実践の省察

- 動機づけを高めるための英語指導ストラテジーを用いて— (林田朋子) (105)
「いきいき・ふれあいサロン」の効果に関する一考察
—サロンの担い手への調査研究の知見から— (岩永耕) (117)

長崎ウエスレヤン大学 現代社会学部紀要 19巻1号 2020年12月 (全100頁)

<一般論文>

ゲーミフィケーションによる簿記会計の基礎教育

- モノポリーによる実践を中心として— (礒本光広) (1)

読解力を涵養するアクティビティとは

- 本学の実践を中心として— (礒本光広) (15)

ヒップホップ音楽における叙情的なテクニクに関する一考察

(フレイク・リー) (25)

酪農における後継者の存続条件

- 佐賀県の六次産業化に取り組む酪農家を事例に—

(アハメド・ジュナエド・ウッディン、白武義治) (45)

〈善く生きる〉ための社会学の系譜～スラヴ地域からの亡命知識人が残した遺産と展望～

(吉野浩司、吉田耕平、磯直樹、梅村麦生) (53)

1920年代の朝鮮におけるハンセン病問題に関する研究

- 志賀潔における治療主義と隔離主義の相克— (平田勝政) (73)

<研究ノート>

COVID-19感染拡大期における観光業「おもてなし」対応の現状

(登り山和希) (87)

「鎮西学院平和教育ハンドブック」英訳

(フレイク・リー) (95)

(付記)

「長崎ウエスレヤン大学」は、鎮西学院創立140周年を契機に学院としての一体感を強めるため2021（令和3）年4月1日より「鎮西学院大学」と校名を変更しました。その改称に伴い本号（20巻1号）より「鎮西学院大学現代社会学部紀要」と誌名変更（巻号は継承）して継続発行することとなりました。

